



ニュージャージー

補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

八月十七日、約一月半ぶりに子供達の登校して来る姿を見ることができました。入り口に立ち「おはようございます。」と声をかけると、「おはようございます。」と元気に返事を返してくれる子が四月よりも多くなりました。また、私より先に挨拶してくれる子も沢山います。うれしいことです。

八月十七日の授業ではまだ一時帰国中のご家族も多いのでしょうか、出席率は63%でした。十七日現在の在籍数は幼児部五十名、初等部二百五十九名、中等部五十三名、高等部二十九名、合計三百九十一名です。

子供達一人一人にとって充実した土曜日になるように、今期も教職員一同努力をしてまいります。ご家庭での日本語学習をよろしくお願いします。学びたいという子供達の気持ちを応援し、詩を紹介します。

なにかひとつ

なにかをひとつ

やなせたかし

しるたびに

なにかひとつの

よろこびがある

なにかをひとつ

まなぶたび

なにかがひとつ

わかってくる

もつとりたい

まなびたい

無限の道を

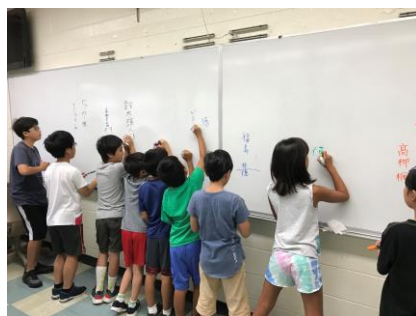
すすみたい

学びを生かす工夫

これからの社会では知識として覚えるだけでなく、学んだことを使って何ができるのか。自分で考えていくことが求められています。また考えるだけでなく、そのこと自体を楽しみとして、さらに新たな知識を自ら求めていけるようになること、学びへ向かう姿勢も身につけて欲しいものです。

そのきっかけを教師や保護者は子供達に示すことができます。

一例を紹介します。



意欲的に学ぶ 4年2組国語



5年2組国語

学習した漢字を使った単文を自分で考える授業を5年2組で行いました。「省略」

↓文章

を省略する。」「可能」↓「大会に出るのは可能かしら。」などです。言われた字をただ書き写すのではなく、その字を使った文章を考えることで、自分から学びに向かう姿勢が養われていきます。家庭学習をするときも、取り入れてみてはどうでしょうか。単に漢字を覚えるという作業が創作活動に変わるかもしれません。

第十五号

令和元年

八月二十四日

発行